

日本学術会議 基礎医学委員会 ICLAS 分科会(第26期・第2回) 議事録

日時 令和6年5月29日(水)16:30~17:30
場所 京都市勧業館 みやこめっせ及びオンライン会議システム併用
出席者 入來篤史(委員長)・村山美穂・金井正美・鍋倉淳一・林元展人・山崎由美子(幹事)
欠席者 末松誠(副委員長)

議題

(1) 動物実験に掛かる国際環境への対応

- ・2012年に改訂された CIOMS-ICLAS ガイドラインへの国内の対応について
入來委員長から、国内では対応が進んでいないまま、次の改定が迫っている状況について説明があり、情報共有された
- ・ヘルシンキ宣言改訂の見通しについて
入來委員長から、ヘルシンキ宣言の改訂の話が進んでいて、2024年後半には完成する見通しであり、これに合わせて CIOMS ICLAS のガイドラインも改訂する見込みであることが情報共有された

(2) 国内関連学協会等との連携

- ・国際関係の変化に合わせて、日本実験動物学会(JALAS)や日本学術会議の実験動物分科会などとの連携をどのようにしていくかについて、議論された

(3) その他

- ・野生動物、展示動物の扱い
ガイドラインには現在は入っていないが、今後検討する必要があるとの意見があった
- ・ICLAS 理事長との意見交換
入來委員長から、7月前半 8-13 に ICLAS 理事長が来日するので、その際に意見交換をしてはどうか、という意見があった